

# 施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画	第三次津市消防力整備計画				
担当部局		消防本部				
施策の内容(番号)		050		053		

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。	A	①	消防総務課 /消防救急課 /通信指令課
051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。	A	①	消防救急課
052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。	A	①	消防団統括室
053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。	A	①	予防課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード 030516050
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ 62
関連個別計画		第三次津市消防力整備計画(平成30年度～令和9年度)			
担当部局		消防本部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。		

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
050-1	消防庁舎整備事業	中消防署西分署の整備	効	消防庁舎を整備することにより、消防力の強化を図る	◆ 計画に基づいた確かな事業の推進	◎	当該事業に係る各種設計業務(実施設計、造成・外構設計、解体設計)を完了するとともに、旧庁舎の解体工事を実施し、令和6年度に計画していた事業を100%完了した。令和7年度末の整備完了を目指して事業を推進する。
	誰		市民	◇ 事業評価の主な視点	◎		
消防総務課	何	安全と安心の確立	82,400 (千円)	拡充・充実			
050-2	消防庁舎整備事業	訓練施設の整備	効	消防庁舎を整備することにより、消防力の強化を図る	◆ 計画に基づいた確かな事業の推進	◎	当該事業に係る旧北消防署庁舎の解体工事を実施し、令和6年に計画していた事業を100%完了した。令和7年度末の整備完了を目指して事業を推進する。
	誰		市民	◇ 事業評価の主な視点	◎		
消防総務課	何	安全と安心の確立	50,512 (千円)	拡充・充実			
050-3	消防車両購入事業	救急自動車の購入	効	救急車を要請した傷病者に必要な処置を実施し医療機関へ搬送する	◆ 車両の計画的な更新	◎	第三次津市消防力整備計画に定める更新基準である使用10年を迎えた1台の更新を完了した。今後も計画どおり更新を図っていく。
	誰		傷病者	◇ 事業評価の主な視点	◎		
消防救急課	何	迅速に医療機関へ搬送する	26,909 (千円)	拡充・充実			
050-4	消防指令センター共同運用整備事業	消防指令センター共同運用に係る整備工事(津市、鈴鹿市及び亀山市)	効	災害情報の一元化、大規模災害時の円滑な応・受援体制の確立、整備費用の低廉化	◆ 消防通信指令業務共同運用の推進	◎	当該事業に係り、仮眠室等の改修工事が計画どおり完了した。また令和6年度から2ヶ年かけて行う指令センターの整備工事及び同工事に係る監理業務委託についても事業に着手した。今後、令和7年度末の整備完了を目指して事業を推進する。
	誰		市民	◇ 事業評価の主な視点	◎		
通信指令課	何	地域全体の消防力の強化	20,334 (千円)	拡充・充実			

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

050-5	消防車両購入事業	消防自動車の購入	効	消防自動車を更新することにより、消防力の強化を図る	◆ 車両の計画的な更新	◎	当初の計画に基づき1台更新する予定で事業を行ったが、社会的な半導体不足のため納車が遅れ、令和6年度中には運用開始できなかった。その後、令和7年5月に計画の1台が納車された。
	消防救急課		誰	市民	◇ 消防自動車の更新	◎	
050-6	消防水利整備事業	耐震性防火水槽の設置	効	大規模地震を含む火災時等に消防水利として活用できる	◆ 耐震性防火水槽2基設置	◎	耐震性防火水槽設置計画における令和6年度分3基のうち予算化された2基については、設置できた。1基については、適用起債の時限措置である令和8年度末までに設置事業を進めることとした。
	消防救急課		誰	市民	◇ 耐震性防火水槽2基設置完了	◎	
050-7			効		◆		
			誰		◇		
050-8			効		◆		
			誰		◇		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	②	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり			
	計画	基本政策	05	いざという時の備えの強化		管理コード	030516051
		施策	16	消防力の強化		本冊ページ	62
	関連個別計画						
担当部局		消防本部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点		
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
051-1	救急救命士養成研修事業	救急救命士養成のための研修	効	救命率の向上	◆	救急救命士の搭乗率の向上	◎	救急救命士2人の養成を達成できた。今後も計画的に救急救命士を養成していく。
	誰		市民	◇	救急救命士2人の養成	◎		
	担当課		消防救急課	何	専門的知識及び技術を持つ救急救命士を養成する	4,641 (千円)	拡充・充実	
051-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
051-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
051-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

051-5	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
051-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
051-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
051-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		管理コード	030516052
		基本政策	05	いざという時の備えの強化		本冊ページ	62
		施策	16	消防力の強化			
	関連個別計画						
担当部局		消防本部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点		実施評価 事業評価
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性		
052-1	消防団車両購入事業	消防団車両の購入	効	消防団車両を更新配備して、消防力の強化を図る	◆	消防団車両の計画的な更新	◎	第三次津市消防力整備計画に基づき、順調な車両更新が進んでいる。令和6年度は消防ポンプ車3台、積載車1台、軽積載車3台、軽広報車1台の計8台を更新する予定であったが、社会的な半導体不足のため4台の納車が令和7年度に繰り越された。今後も当該計画に基づき、消防団車両の充実を図っていく。
	誰		市民	◇	消防団車両4台の更新	◎		
	消防団統括室		何	安全・安心を守る	25,938 (千円)	現状維持		
052-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
052-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
052-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

052-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
052-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
052-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
052-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化		管理コード 030516053
		施策	16	消防力の強化		本冊ページ 62
	関連個別計画					
担当部局		消防本部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。			

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
担当課		何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	決算額 (千円)	今後の方向性
053-1	消防法令違反是正強化事業	市内の重大な消防法令違反建築物に対する是正指導を強化する	効	市内の防火対象物を利用する者が安心して使用できる	◆ 重大違反対象物に対する是正指導	◎	重点的に重大違反対象物を査察、是正指導するとともに、違反是正研修受講者が効果的にサポートすることで、年度内に32施設の重大違反対象物の是正指導を行い、うち21施設の是正が図れた。 今後も、重大違反対象物の是正指導を強化する。
	誰		市内防火対象物の利用者	◇ 重大違反対象物32件に対する是正推進	○		
	予防課		何	安心して使用できる	30 (千円)	現状維持	
053-2	住宅防火対策推進事業	住宅防火対策を促進する	効	市民の火災時の逃げ遅れを防ぐことができる。	◆ 住宅用火災警報器の設置等の推進	◎	火災予防運動等でのポスター掲示や、広報つ、津市HP、SNSの活用、津まつり等のイベントでの広報(53件)、職員が住警器調査を兼ねて戸別訪問等を実施することによる広報(1,368件)、木造住宅耐震促進協議会と連携し、高齢者世帯を中心に住警器の啓発資料の配布を実施した。 今後も住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の広報を実施する。
	誰		市民	◇ 住宅用火災警報器の設置及び維持管理の推進 ※設置率100%(目標)	○		
	予防課		何	火災時の逃げ遅れを防ぐことができる	841 (千円)	現状維持	
053-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
053-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和6年度分)

053-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
053-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
053-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
053-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

